



平成 29 年 9 月 28 日

各 位

会 社 名 ユニー・ファミリーマートホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 高柳 浩二
(コード：8028 東証・名証第一部)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 29 年 4 月 11 日に発表しました平成 30 年 2 月期第 2 四半期（累計）の連結業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。尚、配当予想につきましては、前回発表から変更ございません。

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 30 年 2 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想の修正（平成 29 年 3 月 1 日～平成 29 年 8 月 31 日）

	営業収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的 1 株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	628,100	24,600	24,300	14,000	110.55
今回修正予想 (B)	633,000	33,500	34,000	23,000	181.62
増減額 (B - A)	4,900	8,900	9,700	9,000	
増減率 (%)	0.8%	36.2%	39.9%	64.3%	
(ご参考) 前期第 2 四半期 実績 (平成 29 年 2 月期第 2 四半期)	211,536	20,130	20,729	11,978	126.18

※前期第 2 四半期実績は、日本基準で発表した数値を IFRS に組み替えております。

(2) 修正の理由

第 2 四半期連結累計期間では、コンビニエンスストア事業(CVS 事業)において、サークルKサンクスからファミリーマートへのブランド転換店舗数並びに転換店舗の日商が計画を上回って推移していることや上期に予定した店舗の閉鎖が下期にずれ込んだこと等により、営業利益は当初計画を上回る予定です。また、総合小売事業(GMS 事業)において、アピタ及びピアゴ店舗経費等の削減が進み、CVS 事業と同様に営業利益は当初計画を上回る予定です。これらの結果を受け、営業利益、税引前利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益は、前回発表の連結業績予想を大幅に上回る見通しです。

なお、平成 30 年 2 月期通期の連結業績予想につきましては、現在下期の業績予想を精査中であり、変更が生じた場合には速やかに開示いたします。

(注) 上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は要因により大きく異なる可能性があります。

以 上